

平成28年度 星宮小学校学校評価・学校関係者評価のまとめ

平成29年2月13日、学校評議員の皆様により、学校自己評価結果を踏まえて本校の教育活動を評価をしていただきましたのでその結果をお知らせいたします。

学校教育目標	質問事項	学校関係者による評価
1 勉強や仕事を進んでする子	①学習指導の充実と基礎的基本的な学力の定着 [個別指導カード「別冊ほしみや」の活用(毎学期)] ②児童と一体となった活動(師弟同行) [ノーチャイム、無言清掃(随時)] ③家庭と連携した「星宮小スタンダード」教育の展開 [家庭学習(15分×学年+10分)の習慣化90%達成]	評価3.8・・・良好 少人数の良さを活かして、個々に応じた指導ができています。無言清掃や、縦割り活動の中で、一人ひとりの役割を活かせる活動が工夫されている。
2 仲よく力を合わせる子	①道徳教育・人権教育の充実 [「私たちの道徳」の活用(随時)] ②生徒指導の充実 [あいさつ運動「あいさつ名人」の実施(毎月)] ③体験活動の充実 [地域と連携した体験活動の実施(年10回以上)] ④特別支援教育の充実 [ノーマライゼーションに基づく教育の推進]	評価3.4・・・ほぼ良好 あいさつはよくできているが、声が小さくなってきた。親の行動を子供はよく見ている。地域との連携による2回の参集訓練は、地域・学校のどちらにとっても「+(プラス)」だと思う。特に起震車による地震体験で地域の意識が変わった。
3 じょうぶでたくましい子	①体力向上の推進 [新体力テストの県平均を上回る項目75%達成] ②健康教育の充実 [おはようマラソンの実施(毎日)] ③ 安全教育の徹底 [安全点検(毎月)と避難訓練(年5回)]	評価・・・3.8良好 2年連続で体力向上推進優良校に選ばれるなど、日頃からの取り組みの成果だと思う。安全教育でも、毎日の登下校指導と地域の見守りで事故0が継続されている。これからも、取組に力を入れて欲しい。
『熊谷の子はこれができます！』 「4つの実践」 「3減運動」 及びあいさつ運動の推進	①4つの実践 ・朝ごはんをしっかりと食べる ・呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする ・「ありがとう」「ごめんなさい」と言う ・友だちをたくさんつくる ②3減運動 ・テレビの時間を減らす ・ゲームの時間を減らす ・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす ③あいさつをしっかりする。	評価・・・3.2 学校だけでは、十分な成果が得られないところである。これからも家庭と連携して取り組んでほしい。特に「あいさつ」については、大人が手本を示してほしい。